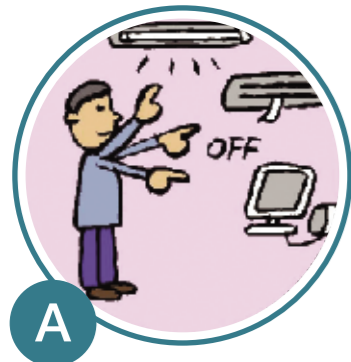


京都大学環境報告書ステークホルダー委員会からの提案です

みんなでやると効果がある! 全構成員でアクションを起こすために

ABCから始めてみよう!

プロジェクト
アイデア
募集中!



A

After Five

～省エネのための後始末5カ条～

- ①講義後の教室などの冷暖房をOFF!
 - ②誰もいない部屋や廊下の照明をOFF!
 - ③研究室を出るときは、パソコンをOFF!
 - ④待機電力の無駄をなくすために、主電源も確認!
 - ⑤電気ポットやプリンターも、要注意!
- 京都大学のエネルギー使用量は年間24億MJ。
これは一般家庭のおよそ5万軒分!
番外編：夏期冷房は28℃
冬期暖房は20℃に!

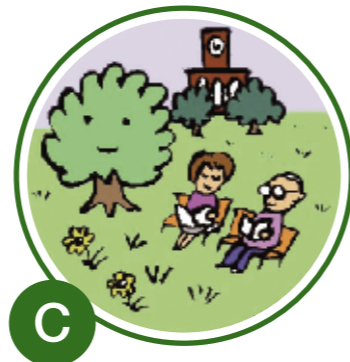


B

Bag, No thank you!

～省資源・ごみ削減～

- レジ袋を始めとする容器・包装材は、処分される生活系ごみの象徴。
 - 削減に向けて、マイバックの持参を…
 - そして「レジ袋いりません」のひとつを!
- 京都大学の生活系ごみ発生量は年間5,000トン。
これは一般家庭のおよそ5,000軒分!



C

Campus Green

～キャンパス緑化&快適化計画～

- 虫のいるキャンパス
- 木陰の多いキャンパスなど…
- アイデアを出し合って
- 実現可能な提案に! ※提案アイデア募集中

- 京都大学の全構成員や地域市民の自主的な発案・参加・協力により、できることから、Act Locally in the campus of Kyoto Universityを始めてみては? という京都大学環境報告書ステークホルダー委員会からの提案です。
- 今回は、例として、3つの行動をあげましたが、活動は、これらに限定されるものではありません。ふさわしいと思われるアイデアを随時募集していますので、応募下さい。なお、今回提示したABCは、キャンパスライフで感じる問題点や課題、取り組みやすさを鑑み、ステークホルダー学生委員の議論をもとに例示したものです。
- 啓発に参加・協力していただける方は、ポスターの掲示をお願いします。(HPからもダウンロードできます)

ABC運動ポスター等の取り寄せや、提案アイデア等の募集については、ステークホルダー委員会事務局(メール:abc@eprc.kyoto-u.ac.jp) ファックス:075-753-7710)までお願いします。京都大学環境報告書ステークホルダー委員会への参加者も募集する予定です。

京都大学環境報告書ワーキンググループについて

代表：大高幸一郎(環境安全保健機構長) 委員：15名(大高代表のほか、環境保全センター教授1助教授2助手1職員1、保健管理センター教授1、施設環境部環境安全課職員3、施設・環境部施設活用課職員1、総務部広報課職員1、宇治キャンパス職員1、桂キャンパス職員1、生協1)

設置：2005年8月 事務：施設・環境部環境安全課

2004年に制定された環境配慮促進法により、本学も環境報告書を作成・公表することになりました。作成の中心的役割を担ったのが、環境・安全・衛生委員会のもと、本学教職員を中心に構成された京都大学環境報告書ワーキンググループです。2005年8月から2006年7月にかけて計10回の会議を開催し、報告書の基本方針から具体的構成に至るまで議論を重ねました。その結果として、ここによくやくひとつの形をお届けすることができました。大学内外のコミュニケーションツールとなることを目指した本報告書に対して、添付のアンケートにより皆様の忌憚のないご意見をお聞かせ願えれば幸いです。

■発行:国立大学法人京都大学 ■編集:京都大学環境・安全・衛生委員会/環境報告書ワーキンググループ(代表 大高幸一郎環境安全保健機構長)

■発行日:2006年9月 ■問い合わせ先:〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学施設・環境部環境安全課環境計画グループ

電話 075-753-2383 ファックス 075-753-2355 メール eco2006@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

発行者からのお願い

紙は温室効果ガスを固定してくれています。本報告書を捨てずにご覧いただくことは、温室効果ガス排出を抑えることにつながります。

やむを得ず手放される場合は、環境報告書専用回収箱または故紙回収へお願いします。環境報告書専用回収箱は、環境保全センターなどに設置してあります。

詳しくは京都大学ホームページ(http://www.kyoto-u.ac.jp/kankyo/report_rec.html)をご覧ください。

表紙のデザインは、本報告書表紙公募し応募いただいた作品の中から選ばれたものです。

また京都市立第四錦林小学校4年生のみなさんをはじめ、応募いただいた方々の作品を本文中に挿入させていただきました。イラストはハイムーンこと高月紘本学名誉教授の作品です。



京都大学 環境報告書2006

ダイジェスト版

KYOTO UNIVERSITY
Environmental Report

Think Globally
Act Locally in the campus of Kyoto University
Open the Window